

2018.6.27

アストンマーティン・ジャパン

Press Release

新型 DBS Superleggera: 輝かしい 2 つの名称、驚異的な 1 台のスーパーGT



2018 年 6 月 26 日、ロンドン:

DBS Superleggera。1 台のピュア・サラブレッドとともに、輝かしい伝統を誇る 2 つの名前が復活します。DBS は、アストンマーティンが 1967 年に初めて使用したアイコン・モデルの名称であり、スーパーレジェーラは、イタリアのコーチビルダー、トゥーリングが先鞭を付けた革新的軽量構造へのオマージュです。

新型 DBS Superleggera (DBS スーパーレツジェーラ) は、アストンマーティンが誇る孤高のスーパーGT であり、名うてのライバルに真っ向から勝負を挑むモデルです。完璧な形状に仕立て上げられたカーボンファイバー・ボディパネルを纏う最新モデルは、力強く個性的なスタイリングを誇ります。そのデザインは、アストンマーティン製 5.2 リッターV12 ツインターボのパフォーマンスに完璧にマッチしています。V12 ユニットは、圧倒的なパワーと強大なトルクを発揮して、息を呑むようなレスポンスと驚異的なパフォーマンスを約束します。



DBS Superleggera は、英国を代表する自動車メーカーの新しいスーパーGT フラグシップであり、Vanquish S の後継モデルです。大成功を収めた Vanquish S に代わるモデルを開発することは容易なことではありませんが、DBS Superleggera は、生まれながらにしてその役割を担っているのです。最高出力と最大トルクは、それぞれ 725PS と 900Nm に達し、最高速度は 211mph (約 340km/h) です。0～100km/h 加速はわずか 3.4 秒、0～160km/h 加速は 6.4 秒です。DBS Superleggera は、記憶に残るドライビング・エクスペリエンスとクラス最高レベルの中間加速を提供します。4 速固定の 80～160km/h 加速に要する時間は、わずか 4.2 秒にすぎません。

最新鋭のデザインおよびエンジニアリング手法が応用された DBS は、アストンマーティン史上もっともパワフルで、もっとも愛されるフラッグシップという圧倒的な評価を得ることになるでしょう。優美なプロポーションには、アグレッシブでアスリートを連想させる雰囲気漂い、それ自体がひとつのデザイン言語を表現しています。力強い曲面と先進の空力コンセプトを融合させ、風の抵抗に打ち勝ち、自らを路面に押しつける流麗なフォルムが完成しました。

DBS Superleggera は、DB11 とともにデビューした革新的な空力コンセプトであるカーリキューやエアロブレードをさらに進化させるとともに、F1 にインスピレーションを受けたダブルディフューザーを取り入れた結果、最高速度で走行している時のダウンフォースは、量産アストンマーティン史上最高となる 180kg に達しています。しかもこの数値は、空気抵抗の増加を伴わずに達成したものです。

DBS Superleggera の心臓部は、アストンマーティン製 5.2 リッターV12 ツインターボ・エンジンが搭載されます。このエンジンをフロントに低く、なるべく後方に搭載することで、車両の重心を下げると同時に、理想的な重量配分を得ることに成功しています。エンジンは、725PS/6,500rpm の最高出力と 900Nm/1,800～5,000rpm の最高出力を発生します。V12 エンジンに施されたチューニングと、アクティブバルブや



ASTON MARTIN

4 本出しのテールパイプによる新しいエキゾースト・システムにより、DBS Superleggera は、印象的でパワフルなサウンドを奏でます。走行中はアグレッシブさが強調される一方で、現代的なスーパーGT らしく、高い洗練性も兼ね備えています。

DBS Superleggera は、リアにマウントされた ZF 製 8 速オートマチック・トランスミッションを介して、V12 エンジンの強大なパワーとトルクをリアホイールに伝達します。機械式リミテッドスリップ・ディファレンシャルとトルク・ベクタリングを採用、緻密で予測しやすく、限界を追求できるハンドリング特性を実現し、ファイナルドライブをローギヤード化して、爆発的な中間加速を実現しています。DBS Superleggera は、スーパーカーのレスポンスと GT の洗練性を兼ね備えた希有な 1 台であり、その最高速度は 211mph(約 340km/h)に達します。

DBS Superleggera のシャシーは、DB11 とともにデビューした最新世代軽量接着固定アルミニウム構造の発展進化バージョンです。このボディに、フロント鍛造ダブルウィッシュボーン・サスペンションとリア・マルチリンク・サスペンションを組み合わせています。また、最新世代のアダプティブ・ダンピングも標準装備され、センサーで運転状況やドライバーの意図を感知し、最適な制御を行います。パワートレイン、シャシーともに 3 種類のダイナミック・モード(GT、Sport、Sport Plus)が設定され、ドライバーが任意に選択することができます。モード設定を変更すると、DBS Superleggera は、リラックスしてドライブできるグランドツアラーにも、アグレッシブなスーパーカーにも変貌します。

DBS Superleggera は、標準装備も充実しており、キーレスエントリー、タイヤ空気圧モニタリング・システム、パーキング・ディスタンス・ディスプレイ付き 360° カメラ、パーキング・アシストなどが含まれます。オーディオ・システムには、DAB、Bluetooth オーディオ、電話ストリーミング、iPod/iPhone 接続機能、USB 再生機能を提供します。インテグレートッド・サテライト・ナビゲーション・システムや Wi-Fi 機能も標準装



ASTON MARTIN

備されます。車載のインフォテインメント・システムは、セントラル・ダイヤルを操作して LCD ディスプレイで制御することができます。

アストンマーティンのフラッグシップ・モデルである DBS Superleggera は、最高レベルのクラフトマンシップを特徴とし、幅広いオプション・アイテムによってさまざまなスタイルにパーソナライズできます。独特の芳香を漂わせるソフトなレザーとアルカンターラによる内装、Sports Plus パフォーマンス・シート/ステアリングホイールが標準装備されます。2 種類のデザインが採用されたアロイホイールは、標準装備の Y スポーク鍛造ホイールに加えて、軽量ツインスポーク鍛造ホイールも用意されています。ともに 21 インチ径で、DBS Superleggera 専用開発されたピレリタイヤと組み合わせられます。アストンマーティン・デザインチームが推奨するデザイナー仕様は、それぞれ DBS Superleggera の特定のキャラクターを強調するカラーやトリムが選択されています。

アストンマーティン社長兼 CEO の Dr. アンディ・パーマーは、DBS Superleggera に関して次のように述べています。「DBS Superleggera とともに栄光の名前が復活するだけでなく、ブランドとしてスーパーGT セグメントの頂点に再び君臨することも意図しています。どこから見ても美しく、軽量カーボン・コンポジットとアルミニウムによるボディは、圧倒的な存在感とカリスマ性で見る者に強く訴えかけます。V12 ツインターボの強大なトルクのおかげで、DBS Superleggera はどの回転域からでも強烈なレスポンスを見せますが、あらゆるレベルのドライバーが運転できるよう入念に磨きがかけられています。印象的なスタイリングとこだわり抜いたエンジニアリング、圧倒的なポテンシャルを備えた新型 DBS Superleggera は、あらゆる意味でアストンマーティン・フラッグシップの名にふさわしい 1 台に仕上がっています。」

DBS Superleggera の希望小売価格は、225,000 ポンド(英国)、274,995 ユーロ(ドイツ)、304,995 ドル(米国)です。お客様への納車は、2018 年第 3 四半期から開始される予定です。



ASTON MARTIN

DBS Superleggera の画像は下記よりダウンロードいただけます。

<https://we.tl/JFYMdcQFyC>

###

詳しい情報は、ウェブサイト(www.astonmartin.com または
www.astonmartin.com/media) から入手可能です。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)
- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

メディア問い合わせ先: コスモ・コミュニケーションズ
アストンマーティン PR チーム

今野 博文

Tel: 03-6434-5839 M: 090-6180-0281

hirofumi_konno@my-z.co.jp

アストンマーティン・ジャパンマー
ケティング & PR マネージャー 坂
本 裕美

Tel: 03-5797-7295 M: 080-7950-
2033

hiromi.sakamoto@astonmartin.com

添付 1

アストンマーティン DBS Superleggera 仕様

ボディ

- 2 ドア・ボディスタイル (2+2 シート)
- 押出接着アルミニウム・ボディ構造 & コンポジット (複合) パネル
- LED ハイ&ロービーム・ヘッドランプ (方向指示灯、デイトタイム・ランニングライト、ポジションランプ、ロック/ロック解除グラフィック・シアターを統合)



ASTON MARTIN

- ・ シグネチャーLED テールランプ(ストップ/テールランプ、ダイナミック・インジケーター機能付き)
- ・ クラムシェル・ボンネット
- ・ サイド・ルーバー
- ・ エアロブレード II

エンジン

- ・ オールアロイ V12、DOHC48 バルブ、5.2 リッター、ツインターボ、ストップ/スタート(アイドリングストップ)、シリンダー休止機能付き
- ・ 過給インタークーラー
- ・ フロント・ミッドマウント・エンジン、後輪駆動
- ・ 触媒コンバーター付きステンレス・エキゾースト・システム、クロスパイプ
- ・ 圧縮比:9.3:1
- ・ 可変デュアル・カムシャフト・タイミング
- ・ ノック・センサー
- ・ フル CNC 機械加工燃焼室
- ・ 電子制御式エキゾースト
- ・ 最高出力:715bhp/725PS @ 6,500rpm
- ・ 最大トルク:900Nm/663lb ft @ 1,800~5,000rpm
- ・ 加速:0~100km/h:3.4 秒
- ・ 最高速度:211mph(約 340km/h)

燃料消費量

- ・ 複合 (MPG):22.9*
- ・ 複合 (ℓ/100km):12.28*
- ・ CO2 排出量:285g/km*

* 予測値

トランスミッション

- ・ リア・ミッドマウント、ZF 製 8 速オートマチック・トランスミッション
- ・ アロイ・トルクチューブ、カーボンファイバー・プロペラシャフト
- ・ 最終減速比:2.93:1

ステアリング

- ・ 電動パワーステアリング(ステアリングレシオ 13.09:1)
- ・ 車速感知式ラック&ピニオン・パワーステアリング(ロック・トゥ・ロック:2.4 回転)

サスペンション

- ・ フロント:独立懸架、ダブルウィッシュボーン、コイルスプリング、アンチロールバー、アダプティブ・ダンパー
- ・ リア:マルチリンク、コイルスプリング、アンチロールバー、アダプティブ・ダンパー
- ・ スカイフック・テクノロジー付きアダプティブ・ダンピング・システム(ADS)(モード:GT、Sport、Sport Plus)

ホイール&タイヤ

- ・ 21 インチ 鍛造 Y スポーク・ホイール、シルバー
- ・ フロント:21 インチ、ピレリ P Zero 265/35/21
- ・ リア:21 インチ、ピレリ P Zero 305/30/21

ブレーキ

- ・ フロント:ベンチレーテッド・カーボンセラミック・ブレーキディスク(410mm 径)
- ・ リア:ベンチレーテッド・カーボンセラミック・ブレーキディスク(360mm 径)
- ・ エレクトリック・パーキングブレーキ
- ・ ダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)
- ・ アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)
- ・ エレクトロリック・ブレーキフォース・ディストリビューション(EBD)
- ・ エマージェンシー・ブレーキ・アシスト(EBA)
- ・ トラクション・コントロール(TC)
- ・ 油圧ブレーキ・アシスト(HBA)



ASTON MARTIN

- ・ ポジティブ・トルク・コントロール (PTC)
- ・ ダイナミック・トルクベクタリング (DTV)

寸法

- ・ 全長: 4,712mm
- ・ 全幅: 2,146mm (ドアミラーを含む)
- ・ リア幅: 1,968mm (ドアミラーを除く)
- ・ フロント幅: 1,942mm (ドアミラーを除く)
- ・ 全高: 1,280mm
- ・ ホイールベース: 2,805mm
- ・ フロント・オーバーハング: 915mm
- ・ リア・オーバーハング: 995mm
- ・ 最低地上高: 120mm (エアダムを除く)
- ・ 最低地上高: 90mm (エアダムを含む)
- ・ フロント・トレッド: 1,665mm
- ・ リア・トレッド: 1,645mm
- ・ アプローチ・アングル: 9.5°
- ・ デパーチャ・アングル: 13°
- ・ 回転径: 12.4m

重量

- ・ 乾燥重量: 1,693kg
- ・ 重量配分: 51:49

標準装備

- ・ プライマリー・エクステリア・ペイント・カラー
- ・ 2X2 カーボンファイバー・グロス・エクステリア・ボディパック
- ・ マットブラック仕上げ 4 本出しエキゾースト
- ・ レッド・テールランプ
- ・ ブラック・フロントグリル
- ・ マットブラック・ウィンドウ・サラウンド・フィニッシャー
- ・ ブラック・ボンネット下クロスブレース
- ・ グロスブラック・サイドルーバー
- ・ ブラック・ボンネット・メッシュ
- ・ ボディ同色ミラーキャップ
- ・ ボディ同色ルーフ
- ・ ボディ同色ルーフ・ストレーキ
- ・ 21 インチ鍛造 Y スポーク・ホイール、シルバー
- ・ ダーク・アルマイト・ブレーキ・キャリパー
- ・ エナメル製ウイング・バッジ
- ・ Sports Plus シート
- ・ ケースネス・レザー&アルカンターラ・インテリア
- ・ オブシディアン・ブラック・レザー・スポーツ・ステアリングホイール
- ・ DBS 刺繍ロゴ付きヘッドレスト
- ・ キャビン用カーペット
- ・ ダーク・クローム・インテリア・ジュエリー
- ・ ピアノブラック・トリム・インレイ
- ・ オートマチック・エアコンディショナー
- ・ キーレスエントリー
- ・ フロント&リア・パーキングセンサー
- ・ タイヤ空気圧モニタリング・システム
- ・ アラーム&イモビライザー
- ・ メモリー&ヒートッド・シート
- ・ ヒートッド・リアスクリーン
- ・ ドアミラー・リバースギア連動チルトダウン機能
- ・ パーキング・ディスタンス・ディスプレイ&パーキング・アシスト
- ・ フロアマット



ASTON MARTIN

車内エンターテインメント

- ・ アストンマーティン・プレミアム・オーディオ・システム
- ・ タッチパッド
- ・ 8.0 インチ液晶パネル
- ・ iPod/iPhone 接続対応、USB 再生機能
- ・ DAB および AM/FM ラジオ
- ・ Bluetooth オーディオ & ストリーミング
- ・ インテグレートッド・サテライト・ナビゲーション・システム
- ・ 360° カメラ

オプション装備

エクステリア

- ・ コンテンポラリーまたはスペシャル・アストンマーティン・エクステリア・ペイント
- ・ エクステリア・ボディパック仕上げ - 2x2 ツイル・グロス・カーボンファイバー・ティンテッド・ブラック²
- ・ ルーフパネル仕上げ: グロスブラック・ペイント、2x2 ツイル・グロス・カーボンファイバー、2x2 ツイル・グロス・カーボンファイバー・ティンテッド・ブラック²
- ・ ルーフ・ストレーキ仕上げ: グロスブラック・ペイント、2x2 ツイル・グロス・カーボンファイバー、2x2 ツイル・グロス・カーボンファイバー・ティンテッド・ブラック²
- ・ フル・チタニウム・エキゾースト
- ・ サイド・ルーバー: 2x2 ツイル・グロス・カーボンファイバー、2x2 グロス・カーボンファイバー・ティンテッド・ブラック²
- ・ ボンネット・ルーバー: 2x2 ツイル・グロス・カーボンファイバー、2x2 グロス・カーボンファイバー・ティンテッド・ブラック²
- ・ ミラーキャップ: グロスブラック・ペイント、2x2 ツイル・グロス・カーボンファイバー、2x2 グロス・カーボンファイバー・ティンテッド・ブラック²
- ・ 21 インチ 鍛造 Y スポーク・ホイール - グロスブラック、ダイヤモンド旋削仕上げ
- ・ 21 インチ 鍛造 Y スポーク・ホイール - サテンブラックおよびグロスブラック
- ・ 21 インチ 鍛造 Y スポーク・ホイール - サテンブラックおよびサテンブロンズ
- ・ 21 インチ 鍛造ツインスポーク・ホイール - グロスブラック
- ・ 21 インチ 鍛造ツインスポーク・ホイール - サテンブラック
- ・ ブレーキ・キャリパー色 - ブラック/レッド/グレイ/イエロー

インテリア

- ・ フルレザー・インテリア
- ・ ケースネスまたはバルモラル・レザー
- ・ コントラスト・ウェルト
- ・ カラー・コーディネイト・トランク・カーペット
- ・ カーボンファイバー・ステアリングホイール
- ・ 刺繍ヘッドレスト - アストンマーティン・ウイング
- ・ エンボス加工ヘッドレスト - DBS ロゴまたはアストンマーティン・ウイング
- ・ Placed または Geode パーフォレーテッド仕上げ³
- ・ Triaxel または Geode キルティング³
- ・ オプション・トリム・インレイ - ダイド・オープン・ボア・タモ・アッシュ、2x2 ツイル・カーボンファイバー・サテン、サテンチョップド・カーボンファイバー
- ・ オプション・シートバック・パネル - ピアノ・ブラック、ダイド・オープン・ボア・タモ・アッシュ、2x2 カーボンファイバー・サテン、サテンチョップド・カーボンファイバー
- ・ オプション・インテリア・ジュエリー - サテンシルバー、ダーククローム、2x2 ツイル・サテン・カーボンファイバー・インテリア・パック
- ・ 選択可能なシートベルト・カラー: フリント、シャンパーニュ、スパイス・レッド、モカ、グラファイト
- ・ ヘビーパイル・フロアマット

機能

- ・ アストンマーティン追跡装置¹
- ・ ガレージドア・オープナー
- ・ バング & オルフセン BeoSound オーディオ・システム
- ・ ベンチレーテッド・シート⁴



1. 一部の市場でのみ装着可能
2. カーボンファイバーと他の仕上げを混在させることはできません。従って、最初に選択したオプションが基準となります。
3. キルティングおよびパーフォレーテッド仕上げは、アルカンターラでは選択できません。
4. ベンチレーテッド・シートには、パーフォレーテッド仕上げのシートを選択する必要があります。

添付 2

アストンマーティン DBS Superleggera: デザイン & エアロダイナミクス

- アストンマーティン Vulcan をはじめとする過激なスペシャル・プロジェクトにヒントを得たアグレッシブなスタイル
- ハニカム・フロントグリルとリア LED ライトによる特徴的なグラフィック
- 先進エアロダイナミクスを積極的に応用して磨き上げられたフォルム
- 量産アストンマーティン史上最強のダウンフォース

アストンマーティン量産ラインナップのフラッグシップに君臨する新型 DBS Superleggera は、極めて魅力的なデザインを特徴としています。アストンマーティンのゲイドン本拠において、エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライヒマンの指揮下でデザインされたニューモデルには、歴代スーパーGT の哲学が反映され、アストンマーティン独自のエレガンス、ポテンシャル、アグレッシブなキャラクターを演出しています。その存在感は圧倒的でありながらも、純粋でバランスが取れ、ディテールに至るまで細心の注意が払われた結果、完成の域に達しています。

アストンマーティンは、モデル毎に独自のデザインを追求する姿勢を採用しており、DBS Superleggera は、完璧なプロポーションと入念な表面処理が施されています。軽量カーボンファイバー・パネルによる造形美には一点の曇りも存在せず、細かな部分まで行き届いた気配りは見る者の興味を喚起し、最新の空力コンセプトによる機能性を明確に表現するそのフォルムは、名うてのライバルを凌駕するレベルに達しています。



ASTON MARTIN

大胆極まりないフロントグリルは、自然界でもっとも多く存在すると言われる形状である、ハニカムをモチーフとしています。ボンネットの長尺パワーバルジとボンネット・ベントがスピード感をダイナミックに表現し、歴代モデルの精神を今に伝えます。幅広いフロント・ショルダーのアクセントとなる彫刻的なサイドパネルやリアエンドの力強いフォルムが鍛え上げられた筋肉を連想させ、そのボディ形状だけで内に秘めたパフォーマンス・ポテンシャルを物語ります。

フロント・スプリッターとエアダムは、それぞれ協調して働き、アンダーフロアを通過するエアフローを増速させ、ダウンフォースを生み出すと同時に、フロントブレーキに十分なフレッシュエアを供給します。サイドストレーキはさらに深くなり、フロントホイール・アーチからエアを排出してリフトを減少させ、高速安定性を高めます。フロントホイール後方には、アストンマーティン Vulcan および Vantage GTE がインスピレーションの源となった、“オープン・スターラップ”および“カーリキュー”と呼ばれるエレメントが配置され、エアを排出しながらボディサイドのエアフローを整えます。リアでは、ダブルディフューザーと改良型エアロブレード II の相乗効果により、空気抵抗を増加させずにダウンフォースを増大させます。これにより、最高速度で走行している時のダウンフォースは、アストンマーティンの量産車史上最高の数値となる 180kg に達しています。

インテリアが発信するメッセージも、エクステリアと同様です。クリアで直感的な操作が可能なエルゴノミクスと流れるようなライン構成の中で、素材の選択には一切の妥協は存在しません。Sports Plus シートは、秀逸なサポートを提供してドライバーやパッセンジャーをしっかりとホールドするだけでなく、長距離走行時の快適性も提供します。Sports Plus ステアリングホイールは、抜群の握り心地を提供します。スポーツ・ビナクル・シュラウドと呼ばれるメーターフードに囲まれた計器類は、ドライバー主導型コックピットの印象をさらに強めます。



ASTON MARTIN

固定式フルレンジス・パドルシフトにより、コーナリング中にシフトチェンジが必要になった場合でも、ステアリングホイールから手を離したり、ステアリングホイールを持ち変えたりせずにシフト操作が実行できます。シフトフィールにも気を配り、ダイレクトかつ確実なフィーリングが得られるようチューニングしています。センターコンソール・アッパーセクションには、お馴染みの 'PRND' ボタンがレイアウトされています。一方、ロアセクションには、タッチセンサー付エアコンディショナー・コントロールが装着されています。インフォテインメント・システムの操作は、中央にマウントされたコントロール・ダイヤルで集中的に行います。

エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼チーフ・クリエイティブ・オフィサーのマレク・ライヒマンは、次のように述べています。「唯一無二のスーパーGT は、アストンマーティンの伝統のひとつであり、DBS Superleggera は、その血統を復活させる完璧な機会となりました。最新鋭のエアロダイナミクスとクラシックな美意識や存在感といったアストンマーティン独自の資質を組み合わせたいと考えていました。圧倒的なフォルムと驚異的な効率を誇る 1 台に仕上がったことは、空気抵抗をまったく増加させることなく、ダウンフォースを大幅に増大することに成功した事実からも理解していただけたと思います。そのスタイルは、アストンマーティンの個性を明確に体現しながらも、決して誇大な表現にはなっておらず、その存在自体が圧倒的なポテンシャルを感じさせます。」

添付 3

アストンマーティン DBS Superleggera: エンジニアリング & パワートレイン

- アルミニウム素材を接着して作り上げた軽量構造体に組み合わせたカーボンファイバー製ボディパネル
- オールアロイ製 DOHC5.2 リッター・ツインターボ V12 をフロントにミッド・マウント



ASTON MARTIN

- 最高出力 725PS/6,500rpm、最大トルク 900Nm/1,800～5,000rpm
- 卓越した加速性能を実現する強大なトルク
- 存在感のあるサウンドを奏でるためにチューンされた 4 本出しエキゾースト・システム

オリジナルのスーパーレグジェーラが掲げた理念を現代的に解釈する DBS Superleggera のボディは、アルミニウム素材を接着して製造したアンダーフレームを中心に構築されています。DB11 が切り拓いたまったく新しい車両アーキテクチャーの進化形である DBS Superleggera の強度と重量効率、外装にカーボンファイバー製ボディパネルを広く採用したことさらに高められています。その結果として誕生した構造体は、きわめて剛性の高い強靱なものですが、乾燥重量は DB11 より 72kg も軽量化され 1,693kg となっています。

DBS Superleggera は、アストンマーティンが独自に設計した非常に高性能な 5.2 リッター V12 ツインターボ・エンジンを搭載しています。725PS/6,500rpm の最大出力と 900Nm/1,800rpm～5,000rpm の強大な最大トルクを発生するこのオールアルミ合金製 DOHC エンジンは、公道走行で多用する回転域で最高の性能を発揮するよう専用のチューンが施されています。

この強大なトルクは、圧倒的な中間加速を実現します。世界最速の量産モデルの一つという地位を築いたアストンマーティン DBS Superleggera は、スーパーGTらしいパフォーマンスの頂点を垣間見せてくれます。神経を使う高回転型の出力特性はあえて避け、余裕を持った加速と圧倒的な追い越し性能を実現すべく設計された DBS Superleggera のパフォーマンスは、極めて印象的で魅惑的です。たとえば、DBS Superleggera の 80～160km/h 加速は、4 速ギア固定でわずか 4.2 秒です。

900Nm の最大トルクは、カーボンファイバー製プロペラシャフトを経由して、車両後部にマウントされた新設計の ZF 8 速オートマチック・トランスミッションに伝達されます。V12 が発生する強大なトルクに対応できるよう強化されたこのトランスミッションは、最終減速比を低く設定してレスポンスと中間加速性能を高めています。専用開発されたアダプティブ・ソフトウェアは車両の走行環境を分析し、ドライバーの要求に合わせて、瞬時に適切なギアを選択します。



ASTON MARTIN

DBS Superleggera が持つ圧倒的なスタイルと、強力なパフォーマンスにふさわしいエンジン音を生み出すため、サウンド特性も注意深く調整されました。4 本出しエキゾースト・システムを搭載したことで、排気のレベルと効率が引き上げられ、パワフルなエンジンが生み出すガスフローと相まって、きわめて存在感のあるエキゾーストノートが生み出されました。キャリブレーションを見直したエキゾーストバルブは、それぞれのパワートレイン・モードで差別化されています。Sport および Sport Plus では、アクセルを踏み込んだ時の小気味よいサウンドが特徴となっています。アイドリング時のノイズは、ターボチャージャーのウェイトゲートの形状を最適化することで抑え込まれており、アクセル開度の小さい低負荷走行時には、GT カーにふさわしい洗練された静粛性が実現しています。

アストンマーティン・チーフ・テクニカルオフィサーのマックス・スウェイは、次のように語っています。「スーパーGT という呼び方は比較的新しいものですが、それが指し示す特別な血統は、アストンマーティンの DNA にずっと組み込まれてきました。DBS Superleggera は、傑出したスタイルと独自のアプローチによってこの伝統を受け継ぐものです。その中心に存在するのは、強大なトルクを発生する V12 エンジンで、実用的な回転域において最大のパフォーマンスが得られるようにチューンが施されています。このエンジンが備えるヘビー級のパフォーマンスは、重量を削減しながら強度を維持できる軽量素材と高い製造技術を組み合わせることによって実現しました。より速く、より軽量で、ポテンシャルが高く、究極の洗練性を誇る DBS Superleggera は、圧倒的な性能を誇る極めて魅力的なクルマです。」

添付 4

アストンマーティン DBS Superleggera: パフォーマンス & ドライビング・ダイナミクス

- 最高速度 211mph(約 340km/h)、0~100km/h 加速 3.4 秒、0~160km/h 加速 6.4 秒
- ダイナミック・スタビリティ・コントロール・システムにリンクされた機械式ディファレンシャル



ASTON MARTIN

- スカイフック・テクノロジーを導入した最新世代のアダプティブ・ダンピング・システム
- あらゆる技術レベルのドライバーが楽しめるようにチューンされたダイナミクス

アストンマーティン DBS Superleggera が動力面において掲げた目標とは、あらゆるレベルのドライバーがエキサイティングな走りを楽しめること、そしてアグレッシブで力強いデザインを備えたスーパーGT を作り上げることでした。第一のフォーカスは大幅に強化されたパワーとトルクの活用に向けられました。そのためには、上級ドライバーによってはパワーとトルクをフルに引き出すことが可能で、経験の少ないドライバーにも恐怖感を与えないシャシーが必要となります。マット・ベッカーに率いられたアストンマーティンの車両ダイナミクス・チームは、まさにそれを実現したのです。

サスペンションは、フロントが鍛造ダブルウィッシュボーンを用いた設計で、リアにはマルチリンク・システムを採用しています。アダプティブ・ダンパーが全車に標準装着されており、センサーを使って運転状況を把握するとともに、クルマに対するドライバーの要求も読み取ります。DBS Superleggera の車高は DB11 よりも 5mm 引き下げられ、ジオメトリのセッティングもカスタマイズされています。トラクションと横方向の負荷に対するパフォーマンスを向上するため、リアとフロントのキャンバー角は大きくなり、ブッシュのジオメトリが見直されました。

スーパーGT としての役割を備えた DBS Superleggera は、すばらしい動的特性を実現しています。このパフォーマンスを制御するのが、3 つのダイナミック・モード (GT、Sport、Sport Plus) です。DBS Superleggera では、アストンマーティンが製造するどのクルマよりも、明確に差別化された性格付けを特徴としています。アダプティブ・ダンピングのソフトウェアは、選択されたモードによる違いを際立たせ、ドライバーからの入力を敏感に検知し、アダプティブ・サスペンション・システムの反応時間を短縮することを念頭に開発されたものです。

V12 エンジンの質量に対応し、初期のステアリング・レスポンス、連続するコーナー内でのレスポンス、限界近傍での安定性を高めるため、エンジンマウントには細かな変更が加えられ、縦方向と横方向の動きをより精密に制御できるようになりました。これらの新しいマウントは、優れた乗り心地を保つため、垂直方向の硬さとダンピング特性においては DB11 の



ASTON MARTIN

それに近い設定となっています。EPAS(電気式パワーステアリング)のソフトウェアも、DBS Superleggera の備える俊敏な反応特性に対応するよう改良を受けたことで、ドライバーに伝わる路面フィードバックが向上し、より高い一体感が生み出されています。

強大なパワーとトルクを路面に伝えるため、DBS Superleggera は、機械式リミテッドスリップ・ディファレンシャル、ダイナミック・スタビリティ・コントロール、ダイナミック・トルク・ベクタリング(DTV)を組み合わせています。後者は車体のコーナリング性能を高めるため、ホイールに個別に制動をかけるものです。DBS Superleggera に採用されたカーボンセラミック・ブレーキの優れた耐熱性能によって、DTV を最大限に活用することが可能になり、車両のダイナミックな挙動を注意深く精密に制御できるようになっています。もちろん、真のドライバーズ・カーとして、DSC システムは干渉レベルを引き下げること、条件さえ許せば完全にキャンセルすることも可能です。

DBS Superleggera は、卓越した加速性能も特徴とし、最高速度は 211mph(約 340km/h)をマーク。0~100km/h 加速はわずか 3.4 秒、0~160km/h 加速は 6.4 秒です。900Nm のトルクは、スムーズで力強い中間加速を実現。4 速ギア固定による 80km/h~120km/h 加速はわずか 2 秒、160km/h に至るにはさらに 2.2 秒しかかかりません。

DBS Superleggera の走行フィールと挙動には、空力特性も大きな役割を果たしています。これまで製造されてきたアストンマーティン車のなかで風洞試験をもっとも活用したこのモデルは、空気抵抗に関係する数値流体力学(CFD)、空気熱学および性能面の広範囲にわたるシミュレーションと、サーキットにおける実走行試験が車両ダイナミクス・チームによって繰り返されました。強力なダウンフォースは、すばらしいグリップ性能、俊敏性、高速コーナリング性能、安心感につながる安定性、高速走行性能をもたらしています。ブレーキ・システムは、最新世代のCCB カーボンディスクを採用し、フロントの直径は 410mm、リアの直径は 360mm で、キャリパーは、フロントが 6 ピストン、リアが 4 ピストンです。マスター・シリンダーとブースターは、剛性を高めたブレーキペダルと短いトラベルに対応して最適化されています。

標準装備されるホイールは、21 インチです。2 種類用意されたスタイルの中で、鍛造合金を使用するYスポーク・ホイールが標準設定となります。ツインスポーク・デザインの軽量な鍛造合金ホイールは、構造的に最適化されたデザインを備え、高い強度を維持しながら重量とスポークセクションを最小レベルに抑えています。タイヤはピレリがカスタマイズした



ASTON MARTIN

PZero A7(フロントは 9.5J リムに 265/35 サイズを、リアは 11.5J リムに 305/30 サイズを装着)です。これは、最高速度 211mph(約 340km/h)を誇る DBS Superleggera の強大なトルクとドライビング・ダイナミクスに適した構造とコンパウンドを採用した専用タイヤです。この幅広いロープロファイル・タイヤには、ピレリ独自の吸音フォーム技術が使用されており、スーパーGT にふさわしい静粛性と洗練性をもたらします。

ビークル・アトリビュート・エンジニアリング(車両特性エンジニアリング)部門責任者のマット・ベッカーは、次のようにコメントしています。「新型 DBS Superleggera は大きな潜在力を備えたクルマです。ハンドルを握るたびに、私はそのパフォーマンスに圧倒されます。スロットルを踏み込めば、爆発的な加速を体験することができますが、同時に大排気量 V12 ターボエンジンらしい、安定した余裕のある特性も備えていることが特徴です。圧倒的に速いクルマを作ることと同時に、経験の少ないドライバーにも扱えることが重要でした。そのために、私たちは動力性能を練り込み、俊敏性と接地感を重要視しましたが、限界点までリニアに、そして素直に伸びてゆく感覚も保ちました。エンジンのチューンは、実用回転域のパワーを重視し、ハンドリングはあらゆるレベルのドライバーに楽しんでもらえるようにしてあります。」

添付 5

アストンマーティン DBS Superleggera: アイコン・モデルの復活

- 1967 年ウィリアム・タウンズがデザインしたファストバック GT に DBS の名前を初採用
- 「世界最速の生産型 4 シーター」とされた高性能 DBS V8 の発表は 1969 年
- 直列 6 気筒および V8 エンジンを搭載した DBS の生産は 1972 年に終了
- V12 エンジンを搭載した新しい DBS は 2007 年に発表、翌年に生産開始
- DBS Volante の登場は 2009 年、Coupe と Volante はいずれも 2012 年に生産終了
- 2018 年にまったく新しい DBS Superleggera が登場



ASTON MARTIN

アストンマーティンのデザイナーであるウィリアム・タウンズがスタイリングを担当した DBS は、先行モデルの DB6 と大きく異なり、ブランドのフラッグシップという位置づけを託されたクルマでした。アストンマーティンの有名な技術者であるタデック・マレックが設計した直列 6 エンジン（通常モデルと、よりパワフルな Vantage モデルの両方に搭載）を最初から採用したファストバック 4 シーター DBS は、3 年間にわたり DB6 と平行生産されましたが、DB6 は 1970 年に生産が終了されます。

6 気筒 DBS の生産開始から 2 年を経て、まったく新設計されたオールアルミ製 5.3 リッター V8 エンジンを搭載した DBS V8 がラインアップに加えられます。オリジナル・モデルが採用していたワイヤーホイールの代わりに斬新なアロイホイールを装着し、向上した性能に対応できるベンチレーテッド・ディスクブレーキが奢られた DBS V8 は、世界最速の生産型 4 シーターという評価を受けました。しかし 1967 年から 1972 年の間に、V6 および V8 バージョン DBS が生産された台数は、1,000 台をわずかに上回る程度でした。

35 年の時を経て、2007 年に DBS の名前が復活します。ペブルビーチのコンクール・デレガンスにおいて新型 DBS が発表されたのです。DB9 をベースとする新型 DBS は、第一世代 Vanquish S の後継モデルという形で、翌年に販売が開始されました。

よりアグレッシブなスタイリングを与えられ、軽量のカーボンファイバー製ボディワークを採用した DBS は、510hp を発生するアストンマーティン製 6.0 リッター V12 エンジンを搭載していました。305km/h 以上の最高速度を誇る DBS には、アダプティブ・ダンピング・サスペンションとカーボンセラミック・ブレーキが採用されていました。

発売当初は 6 速マニュアル・トランスミッションのみが提供されましたが、後には「タッチトロニック 2」オートマチック・トランスミッションも搭載されました。2009 年、アストンマーティンは DBS として初のオープンモデルである DBS Volante を発表。ボディ以外はクーペとすべて共通のこのクルマは、発売されると同時に大ヒットを記録しました。第二世代の DBS および DBS Volante は、2012 年まで製造されました。



ASTON MARTIN

このモデルにまつわる神話の 1 つとして、いずれのモデルも 007 シリーズに登場していることが挙げられるでしょう。オリジナル・モデルはジョージ・レーゼンビーがボンド役を演じた 1969 年の『女王陛下の 007』で使われました。第二世代の DBS は、ダニエル・クレイグが主演した 2006 年の『カジノ・ロワイヤル』、2008 年の『慰めの報酬』で活躍しています。

DBS Superleggera の登場により、アストンマーティンの歴史においてもっともカリスマ性の高いハイパフォーマンス GT が復帰することになります。